

授業科目名	栄養とリハビリテーション		授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	春芳準朗、太田邦恵、津田早紀、河田裕子		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>リハビリテーションにおいて栄養は重要に関連している。特に言語聴覚士は摂食・嚥下分野において関りが深く十分に理解していることが望ましい</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションにおける栄養の重要性を理解している。 ・リハビリテーションを実施する上で必要な栄養に関する基礎知識を修得している。 ・主な病態の栄養療法について修得している。 ・主な疾患の栄養療法について修得している。 					
授業回数	授業内容					
第 1 回	リハビリテーションと栄養					〔春芳〕
第 2 回	栄養と言語聴覚士の役割					〔春芳〕
第 3 回	5 代栄養素の基本					〔春芳〕
第 4 回	摂食嚥下障害と栄養					〔春芳〕
第 5 回	摂食嚥下障害への対応					〔春芳〕
第 6 回	リハビリテーション栄養チームと言語聴覚士					〔春芳〕
第 7 回	まとめ					〔春芳〕
第 8 回	リハビリテーションにおける栄養知識の重要性、基礎知識①(栄養ルート・エネルギー代謝・栄養素の役割)					〔太田〕
第 9 回	基礎知識②(栄養素の役割・運動時・栄養不良時・侵襲時の栄養)					〔太田〕
第 10 回	栄養ケアプロセス・主な病態の栄養療法①(低栄養・嚥下食・フレイル)					〔太田〕
第 11 回	主な病態の栄養療法②(サルコペニア・ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム)					〔太田〕
第 12 回	主な疾患の栄養療法①(脳卒中・誤嚥性肺炎・がん他)					〔津田〕
第 13 回	主な疾患の栄養療法②(慢性閉塞性肺疾患・心不全・廃用症候群)					〔津田〕
第 14 回	栄養関連事項(NST他)・まとめ(テスト範囲解説)					〔津田〕
第 15 回	食事のバランス					〔河田〕
評価方法	定期試験(100%)					
教科書 参考図書	〔教科書〕 リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第3版 (医歯薬出版株式会社)					
履修上の 留意点	授業には積極的に参加して下さい。					
メッセージ	栄養はリハビリテーションをする上で非常に密接になります。					